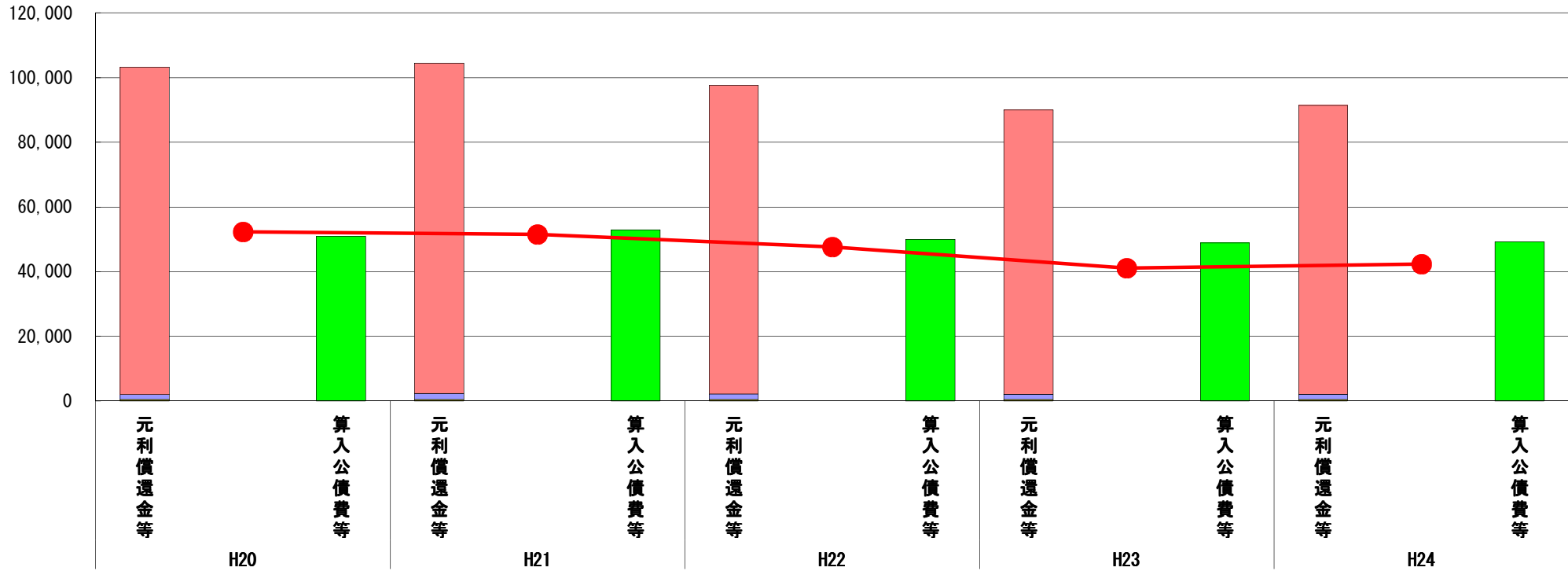


# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（都道府県）

平成24年度

愛媛県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
元利償還金等(A)	元利償還金		101,130	102,179	95,399	87,929	89,442
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,593	1,806	1,710	1,600	1,557
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		450	457	458	446	403
	一時借入金の利子		0	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		50,888	52,861	49,994	48,851	49,143
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		52,285	51,581	47,573	41,124	42,259

**分析欄**

過去の景気対策等に伴い発行した地方債の元利償還がピークを越えたことから、元利償還金は減少傾向にあったが、24年度は、20年度に借り入れた銀行等引受債の元金償還開始などにより増加した。

今後も、交付税措置のある地方債の優先活用や公債費の平準化により、公債費負担の軽減に努める。

※平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。